

用語解説

用 語	解 説
か 清岡義道写真文庫 行	高知市の写真家清岡義道（きよおか・よしみち）氏による風景写真、風俗写真。1950～60年代の高知県内各地の街角の光景や、人々の生活を伝える。
高知県内図書館協力 マニュアル	協力貸出（相互貸借）・物流サービスの利用方法や、県立図書館の市町村立図書館への支援内容について案内する冊子で、毎年県立図書館が作成し、県内の図書館・図書室等へ配布している。
こうちミュージアム ネットワーク	県下の博物館施設連携組織として平成15年3月設立。現在71機関が加盟。 高知県における博物館施設及びその他資料の研究・保存・展示・公開を行う文化施設並びに文化行政機関・教育機関における情報の共有などを目的とし、公立博物館だけでなく、民営の博物館、図書館、NPO法人、寺院、行政なども参加。博物館の分野も、歴史、民俗、美術、文学、まんが、動植物、科学など多彩。
た 田岡典夫文庫 行	直木賞作家田岡典夫氏（1908～1982）の旧蔵資料。図書、雑誌のほか、自筆原稿、書簡類、田岡家に伝来した古文書や玩具類、さらには著名作家からの書簡や署名入りの献本等を含む。
田辺寿男写真文庫	民俗写真家田辺寿男（たなべ・としお）氏撮影の写真資料。1964（昭和39）年4月に高知大丸で開催された個展「仁淀村と無形文化財」出展の写真を中心に構成される。吾川郡仁淀川町（旧高岡郡仁淀村）別枝で毎年2月に開催される秋葉祭り関連のものが大方を占めるが、旧仁淀村の正月行事や葬礼習俗に関する写真も含まれる。
は 燧袋（ひうちぶくろ） 行	土佐藩政後期の下級武士で、国学者、文人として知られた楠瀬大枝（くすのせ・おおえ）の日記。文化6（1809）年3月16日、大枝34歳の壮年期から、亡くなる直前の天保6（1835）年6月30日まで、26年間にわたるもの。土佐における化政文化の状況ばかりでなく、当時の高知城下の庶民生活も知ることのできる一級資料。
ほおっちょけん相談 窓口	高知市が開設している相談窓口のこと。窓口では相談先が分からない、生活に関するちょっとした困りごとなどを気軽に相談できる。地域の薬局や社会福祉法人が協力しており、相談を受けて行政などの専門機関や地域のサービスなど適切な支援につないでいる。「ほおっちょけん」とは高知の方言で「放っておけない」という意味。高知市内の薬局、福祉施設、保育園等に59か所設置されている。（R3.9 現在）
ま 松野尾章行資料 行	土佐関係史料叢書『皆山集（かいざんしゅう）』の編者である松野尾章行（まつのお・あきつら）が筆写収集した土佐関係史料群。近世から明治初年のものを中心に、断簡や抄録も含む。
高知まんがB A S E	「まんが王国・土佐」としての蓄積された資料や情報を発信している施設。 高知のまんが文化の歴史紹介、高知縁の漫画家のアイテムやサイン等の展示やまんが雑誌の閲覧も可能。まんが甲子園の資料や作品展示の他、作画体験等ができ、様々なイベント等を実施している。元高知県立図書館の建物内にある施設。